

一緒に開けよう！まちの未来へつづく 鹿嶋市議会だより

とびら

CONTENTS

| | |
|--------------|-------|
| 特集 鹿嶋市消防団 | 2・3 |
| 議決結果・討論・意見書 | 4~6 |
| 常任委員会の活動 | 8・9 |
| ここが知りたい！一般質問 | 10~15 |
| きかせて！あなたの夢 | 16 |



特集

命を守るまちのヒーロー 鹿嶋市消防団

fire brigade

命を守るまちのヒーロー

鹿嶋市消防団

消防団は地域の安心・安全を守るために活動を行っています。入団のきっかけから、活動内容、そして現在直面している課題について、消防団員の生の声をお届けします。

今回は生井澤団長、岡見副団長に加えて女性団員の村田さんと中村さんにお話を伺いました！



消防団へ入団したきっかけは何ですか。

岡見



副団長
友人や先輩からの誘いがきっかけで入団した団員が多いです。

中村さん



友人の誘いで入団した方もいますが、人材交流イベントで女性団員の話聞いて入団を決めた方もいます。

活動内容について教えてください。

生井澤



団長
消防団は地域ごとに55の分団で形成され、地元の分団員が所属し、地域を守るために活動しています。具体的には、火災現場

への出動、夜警などの防災活動や操法大会への参加を行います。また、水難事故などが

発生した場合には、要請があれば出動することもあります。

村田さん



AED講習や心肺蘇生の方法を市民の方に知ってもらうために出前講座を行うことで、楽しみながら学べる防災・消防団の普及活動を行っています。『その時々で参加できる人が参加する』というスタンスで活動しています。

現在の消防団員数や年齢層の推移について教えてください。

生井澤



団長
平成10年は1000名を超えていましたが、現在は650名です。平均年齢も10年前は34歳でしたが、現在は39歳です。新入団員がなかなか入って来ないのが現状です。





村田さん 女性団員は、人材交流イベントをきっかけに増加し、5名から12名となりました。今後、もっと増やしていけるようにPR活動に取り組んでいきます。

岡見副団長 最低限必要な訓練や競技大会など、消火活動・災害活動に関わる行事などは継続しつつ、必ずしも必要とされていない活動や会議を減らすことで、団員の負担を減らす努力をしています。また、長時間に及ぶ消火活動などに対しては、時間に応じて報酬を上げるなどの対応をしています。

生井澤 団長 分団による地域ごとの夜警を実施しております。

村田さん 防災は特別なもの、大変なもの、と捉えられる傾向にあるので、防災カルタなどを使うことで楽しく学び、防災について知ることができると感じています。また、市内各種

地域の防災意識向上のためにどのような取り組みを行っていますか。

取材を終えて

イベントへの参加はもちろんですが、学校などでの出前講座も実施していき、一次応急処置や防災について、より身近なものと感じてもらえるよう取り組んでいます。

議員

東日本大震災の際には、地域を守るために消防団が先陣をきって活動していました。有事の際には、想定外の事態が起きますが、まちを守るヒーローとしてリーダーシップを発揮していただきたいと思います。また、今回の取材を通して、消防団が新しい考え方を取り込むことでより深く地域に根付いていくことができると思います。これからも、命を守る、まちを守るヒーローを応援していきます。



女性消防団では、FacebookとInstagramで様々な情報を発信しています。ぜひ見てみてください！



Facebook



Instagram

令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算などについて審議

6月3日～6月20日の18日間、令和6年第2回定例会が開催され、市長から提出された23件の議案や議会へ提出された1件の請願、委員会から提出された2件の意見書を審査しました。議決結果は次のとおりです。

| 番号 | 議案名 | 概要 | 結果 |
|----------------------------|--|--|------|
| 市長から提出された議案 23 件 | | | |
| 議案第 29 号 | 令和 6 年度鹿嶋市一般会計補正予算（第 1 号） | 9 億 3,743 万 6 千円を追加（総額 242 億 4,443 万 6 千円） | 原案可決 |
| 議案第 30 号 | 鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 | 医療福祉費支給事務において利用する特定個人情報として、医療に関する給付の支給又は保険料の徴収に関する情報を追加するため、条例の一部を改正するもの。 | 原案可決 |
| 議案第 31 号 | 鹿嶋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | アナログ規制の見直し等を行うため、条例の一部を改正するもの。 | 原案可決 |
| 議案第 32 号 | 鹿嶋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 小規模保育事業所及び事業所内保育事業所の保育士及び保育従事者の配置基準を見直すため、条例の一部を改正するもの。 | 原案可決 |
| 議案第 33 号 から 議案第 46 号 | 鹿嶋市農業委員会委員の任命について | 鹿嶋市農業委員会委員の任命について、議会の同意を求めるもの。任期は、令和 6 年 8 月 27 日から 3 年間。 出頭 勝美（再任） / 橋本 正（再任） 山本 清治（再任） / 大槻 勝敏（再任） 清宮 茂信（再任） / 野口 嘉徳（再任） 大川 喜美（再任） / 笹本真由美（再任） 桐澤いづみ（再任） / 笠貫 順一（再任） 今村 太一（再任） / 日向寺正志（新任） 田口 茂（新任） / 谷田川延秀（新任） | 原案同意 |
| 議案第 47 号 | 茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について | 「被保険者証」等の文言の整理等を行うため、規約の変更について議会の議決を求めるもの。 | 原案可決 |
| 議案第 48 号 | 市道路線の変更について | 路線の一部が一般交通の用に供されていない林地内、宮中地内及び鱒川地内の道路 5 路線を変更するもの。 | 原案可決 |
| 報告第 1 号 | 専決処分について（鹿嶋市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例） | 令和 6 年 4 月 1 日から重度心身障害者医療福祉制度の対象者を拡大するため、条例の一部の改正について、議会の承認を求めるもの。 | 原案承認 |
| 報告第 2 号 | 専決処分について（鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） | 国民健康保険税の軽減対象世帯を拡大するため、条例の一部の改正について、議会の承認を求めるもの。 | 原案承認 |
| 報告第 3 号 | 専決処分について（鹿嶋市税条例の一部を改正する条例） | 個人住民税の定額減税等についての規定を整備するため、条例の一部の改正について、議会の承認を求めるもの。 | 原案承認 |
| 議会に提出された請願 1 件 | | | |
| 令和 6 年 請願第 1 号 | 鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を、市議会として、茨城県と茨城県厚生連に求める請願 | なめがた地域医療センターが公的医療機関としての役割を十分に果たし、鹿行地域の医療を支える役割を担えるよう、要望するもの。 | 趣旨採択 |
| 委員会から提出された意見書 2 件 | | | |
| 意見書第 1 号 | 鹿行地域医療体制の充実を求める意見書 | 地方自治法第 99 条の規定に基づき県へ意見書を提出するもの。 詳細は 6 ページへ！ | 原案可決 |
| 意見書第 2 号 | 地域医療の維持に向けた国の支援を求める意見書 | 地方自治法第 99 条の規定に基づき国会及び関係省庁へ意見書を提出するもの。 詳細は 6 ページへ！ | 原案可決 |

討論

議案第30号 鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

議案第47号 茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

反対 立原弘一議員

マイナンバーカードに健康保険証を紐づけることは反対である。今回の規約変更は、健康保険証を紐づけたマイナンバーカードの使用を前提とする制度の施行が迫っているため行ったものだ。マイナンバーカードと健康保険証の紐づけによる医療現場でのトラブルは多岐にわたり、一向になくならず、保険証が廃止されれば、医療現場がさらに混乱するのは必至であるため、反対とする。

賛成 立原弘一議員

請願提出時の署名数は2000を超えており、現在は3000を超えている。医療が後退していく地元への思いが集まった請願だったと思うが、趣旨採択となり、非常に残念に感じている。本来であれば反対するところだが、委員会から意見書を提出すると伺っているため、しつこい思いではあるが賛成とpono。

議員賛否一覧表

| 賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果 | 未来かしま | | | | | | | | | | 公明かしま | 日本共産党 | 幹会 | | | 有志の会 | | | | |
|---|-------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|-------|-------|-----|------|-----|------|------|------|-----|--|
| | 根崎彰 | 池田芳範 | 小池みよ子 | 栗林京子 | 笹沼康弘 | 内野敬仁 | 中菌薫 | 樋口龍章 | 山口哲秀 | 横山揚久 | 立原弘一 | 宇田一男 | 菅谷毅 | 舛井明宏 | 田口茂 | 河津亨 | 佐藤信成 | 斉藤裕樹 | 加勢誠 | |
| 議案第30号 鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第47号 茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 請願第1号 鹿行地域の医療体制の充実・なめがた地域医療センターの機能回復を、市議会として、茨城県と茨城県厚生連に求める請願 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 意見書第1号 鹿行地域医療体制の充実を求める意見書 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 意見書第2号 地域医療の維持に向けた国の支援を求める意見書 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

賛成 = ○、反対 = ×、棄権 = △、欠席 = -

※内田政文議長は、採決に加わりません。



趣旨採択とは？

請願・陳情に対する議会の意思決定は、基本的には「採択」か「不採択」の2種類になります。ただし、請願についての願意は理解できても、実現性の面で確信がもてない場合は「採択」とすることができないため、「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることがあります。その趣旨のみを取り上げることから「趣旨採択」と呼ばれます。

議会豆知識



県及び国へ意見書を提出しました！



鹿行地域医療体制の充実を求める意見書

【意見書の提出先】茨城県

本県は、医師数や看護師数・病院数など多くの医療指標が全国平均を下回っており、その中でも、県の医師確保計画によると、鹿行地域は、多くの指標で県内最下位となっている。令和5年の時点で、県内の地域枠修学生医師205名のうち、鹿行保健医療圏で勤務する修学生医師はわずか2名という状況が、医師不足地域の原因の一つでもある。特に、近年では、鹿島労災病院・神栖済生会病院の統合や、なめがた地域医療センターの診療所化などが行われる中、多くの鹿行地域住民は、救急医療に対し危機感を抱いている。

このような状況にある鹿行地域の医療の維持と更なる充実を図るには、現在機能縮小している行方市唯一の病院である、なめがた地域医療センターの病院機能としての安定的な維持・回復が有効である。

しかし、現在なめがた地域医療センターでは、医師の働き方改革や物価の高騰等が、経営に大きな影響を及ぼし持続可能な医療体制の確保に課題を有していることから、茨城県に対し、なめがた地域医療センターが公的医療機関としての役割を十分に果たし、鹿行地域の医療を支える役割を担えるよう、下記の事項について強く要望する。

記

- 1 茨城県は、鹿行地域の医療体制の維持・充実を図るため、鹿行地域の医療機関に応じた、医師確保と運営費等について支援を行うこと。
- 2 茨城県は、なめがた地域医療センターの現行の外来・透析センターを含めた部門の安定的な診療体制維持のため、積極的な支援を行うこと。
- 3 地域枠の拡大等により今後修学生医師の増加が見込まれることから、茨城県は研修機能が虚弱な鹿行保健医療圏において、早急に教育・研修体制の充実を図り、鹿行地域で勤務する修学生医師を増加させること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

地域医療の維持に向けた国の支援を求める意見書

【意見書の提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

国民皆保険制度により、日本では「誰でも・どこでも・いつでも」安心した医療提供が受けられる体制としているものの、近年では、高齢化の進展や人口減少、更には医師の働き方改革、医療従事者の人的資源の減少等により、医療を取り巻く環境は多くの課題を抱えている。

特に、本市を含む鹿行保健医療圏においても、ここ数年来で、二次救急病院の統合や縮小が行われ、医療資源が大幅に縮減されたことで、都市部と地方の医療格差が顕在化している状況にあり、とりわけ医師の確保が困難な状況にある。ここ鹿行保健医療圏での人口10万人当たりの医師数は、93.6人であり、県平均203.6人、全国平均269.2人を大きく下回っている状況である。

既に、公的病院の正常運営にも影響を及ぼしていることから、国においては、地域医療における地域間格差の是正を図り、誰もが安心して医療を受ける環境づくりを行うよう、支援強化を強く要望する。

記

- 1 国は、地方への医師をはじめとする医療従事者の地域間格差の是正に向け、抜本的な改革などについて継続して積極的に取り組むこと。
- 2 国は、地域医療を担っている二次救急医療機関の運営の現状を調査し、必要に応じ、安定的な運営に資する積極的な支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。



FM かしまで

76.7MHz

一般質問のライブ放送を行っています！

マスコットキャラクターのナルナちゃんが目印！

▼スマホでも聞けます



エフエムかしまでは鹿嶋市議会の一般質問をライブ配信しています。ラジオをお持ちでない方も、スマートフォンやタブレット、パソコンなどから簡単に視聴できます。スマートフォンの方は左の二次元コードをカメラアプリで読み取るとすぐに聞くことができます。

いざという時のために、ラジオを身近に— 「76.7メガヘルツ」エフエムかしまです！

エフエムかしまは地域のラジオ局として、災害時には各機関と連携しいち早く皆様へ情報を発信できるよう訓練しています。災害はいつどこで起きるかわかりません。生活にラジオを、防災にラジオを、もっと身近にラジオを——



本市議会の音声公開や YouTube 配信を行っています！



【一般質問の YouTube 配信】
一般質問の様子を YouTube で録画配信しています。



【本会議の音声公開】
本会議の音声データを会議録検索システムに議事録が掲載されるまでの間、公開しています。



【会議録検索システム】
鹿嶋市議会のホームページ内にある会議録検索システムで、各会議の議事録をご覧いただけます。



ふるさと納税型クラウドファンディングの補正 予算等を審査

6月13日に開催した予算決算常任委員会では、補正予算1件について審査しました。

主な質疑

■議案第29号 令和6年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号）

問 鹿島アントラーズ支援のため※のふるさと納税型クラウドファンディング実施による通常のふるさと納税寄附額への影響は。

答 過去2か年度の実績では、寄附額が増加した年と減少した年があり、相関関係は見られない。市と鹿島アントラーズとの関係性を強く出していくことで、通常のふるさと納税でも良い方向へ働くものと考えている。

問 今回のふるさと納税型クラウドファンディングで寄附額から市が受け取る額の算定方法と過去の状況は。

答 寄附受入額から、クラウドファンディング募集に係るポータルサイトへの掲載費用を控除した額の10%を市が受け取る。事業の実施にあたり、市としてのメリツトがないと持続的な取組みとして定着させづらいため、鹿島アントラーズと協議を行った結果、今年度から10%の額を設定することになった。過去2か年度については、市の取り分はなかった。

答 採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

※ふるさと納税型クラウドファンディング
自治体が主体となり、寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化し、共感した方から寄附を募る仕組み。過去、鹿島アントラーズ支援のためのクラウドファンディングは、ホームタウンである鹿嶋市、潮来市、行方市で計4回実施した。今年度はクラブハウス練習グラウンドの排水施設などの改修に充てる。

※委員会では、議案をさらに詳細に審査する機関で、鹿嶋市議会には4つの常任委員会があります。委員会での採決の結果は、本会議で報告され、報告後に行われる採決で議会の意思（可決や否決）が決定します。

特定個人情報の情報連携に関する条例改正等を審査

総務生活委員会では、2件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第30号 鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

問 特定個人情報の情報連携について具体的に何う。

答 医療福祉費支給事務において受給者証を発行する際に、保険資格情報を確認する必要がある。申請者には保険証を持参してもらい手続を行っている。今後、多くの方がマイナ保険証に移行すると、マイナンバーカードを持参するだけではその券面上で保険資格情報が確認できないため、情報連携のシステムを経由して必要な情報を収集するもの。

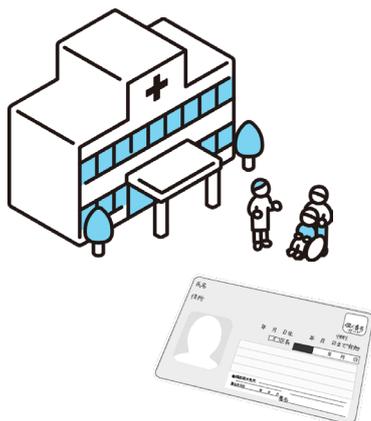
問 一部の独自基準とは何か。

答 市の医療福祉費支給事務や地方税事務など独自に使用することを明確にするもの。

問 医療福祉費支給制度による情報連携で健康保険の情報を取得する場合、必要となる情報は誰のものか。

答 受給者本人（子どもの医療福祉費であれば子ども）の情報収集する。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決・承認すべきであると決定しました。



総務生活委員会





| | 新基準 | 旧基準 |
|-------|----------|----------|
| 3歳児 | 概ね15人に1人 | 概ね20人に1人 |
| 4歳以上児 | 概ね25人に1人 | 概ね30人に1人 |

保育士及び保育従事者の配置基準を見直す条例改正等を審査

文教厚生委員会では、5件の議案と1件の請願を審査しました。

主な質疑と意見

■議案第32号 鹿嶋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

小規模保育事業所及び事業所内保育事業所の保育士及び保育従事者の配置基準を見直すため、条例の一部を改正するもの。

問 保育士の配置基準が見直され、その分保育が行き届くようになると思うが、この基準の配置は可能なのか。

答 市内の家庭的保育事業所等は、全て0〜2歳児のみの施設のため、基準に合わせなければならぬ施設はない。

■令和6年請願第1号 鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を、市議会として、茨城県と茨城県厚生連に求める請願

意見 行方の医療充実が必要だが、機能回復の実現は難しい。

意見 なめがた地域医療センターの縮小により、鹿嶋市の医療機関に負担がかかることも考慮すべき。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決・承認すべきであると決定しました。また、令和6年請願第1号については全会一致で趣旨採択すべきであると決定しました。

都市経済委員会



市道路線の変更について審査

都市経済委員会では、1件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第48号 市道路線の変更について

路線の一部が一般交通の用に供されていない林地内、宮中地内及びびり川地内の道路5路線を変更するもの。

問 市道7244号線の払い下げは無償なのか有償なのか。

答 有償での払い下げとなる。

問 市道7244号線の払い下げの理由は。

答 地区から、現在市道上に墓地があることから無番地となっており、墓地登録をすることができないため払い下げしてほしいとの要望があった。

問 市道5162号線、5242号線、5533号線は接続点で細かく分かれているが、市道をまとめたほうが管理しやすいのではないか。

答 状況に応じ将来的にはまとめていくことも考えていきたい。

採決の結果、本案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

| | 番地先の表示 | |
|--------|-----------------|-----------------|
| | 起点 | 終点 |
| 3389号線 | 林字大津茂 181番地先 | 林字陰見 153番2地先 |
| 5162号線 | 宮中字宮中野 3698番地先 | 宮中字宮中野 3777番1地先 |
| 5242号線 | 宮中字宮中野 3715番地先 | 宮中字宮中野 3719番2地先 |
| 5533号線 | 宮中字宮中野 3777番1地先 | 宮中字宮中野 3697番1地先 |
| 7244号線 | 鯛川字鯛川 126番2地先 | 鯛川字鯛川 126番1地先 |

11人の
議員が
登壇!

ここが知りたい!

一般質問



一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりするものです。

| 質問者 | 質問項目 | ページ | 質問者 | 質問項目 | ページ |
|--------|---|-----|---|--|-----|
| 栗林 京子 | ・観光振興について | 10 | 横山 揚久 | ・クーリングシェルター設置計画について ・带状疱疹ワクチンについて | 13 |
| 中 藺 薫 | ・ホテル誘致計画について ・ユーチューブ活用について | 11 | 佐藤 信成 | ・副市長の体制について ・おくやみコーナーについて | 14 |
| 加 勢 誠 | ・ラーケーションについて ・クーリングシェルターについて | 11 | 菅 谷 毅 | ・公共サービスに係る職員の処遇改善について ・公契約条例について ・公共施設について | 14 |
| 小池 みよ子 | ・少人数学級について ・学校の統廃合について ・図書館司書について | 12 | 山口 哲秀 | ・認知症本人・介護者交流会について ・5歳児健診について ・学校体育館のエアコン設置について | 15 |
| 宇田 一男 | ・部活動の地域移行について ・中学校の適正化について | 12 | 立原 弘一 | ・給食費無償化について ・人口減少対策について | 15 |
| 樋口 龍章 | ・避難所の環境整備について | 13 | 掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「一般質問通告一覧」をご利用ください。 | | |

期待できる。鹿嶋の海を活用した

つなげていきたいと考えている。

問 栗林 鹿嶋の海は海水浴や潮干狩り、工場夜景など様々な観光要素があるため、さらなる活性化が期待できる。鹿嶋の海を活用した

答 市長 観光客を増やす施策だけではなく、稼げる観光を考える必要がある。まずは、観光客が多く訪れる鹿島神宮、そして鹿島アントラーズのホームゲームに焦点を当て、観光客に購入いただく商品やサービスを検証することで、稼げる施策を構築していく。それが出来れば、市内全体に横展開を図っていくことで、市全体の観光振興につなげていきたいと考えている。

観光振興について



栗林 京子 議員

効果的なのかを含め、調査研究していく。

答 経済振興部長 観光資源を全国的に広くPRし注目度を上げることで、アニメの題材となり聖地にもつながるものと考えている。引き続き、どこにどのよう働きかければ効果的なのかを含め、調査研究していく。

問 栗林 聖地巡礼によるアニメツーリズムに対する市の考えを伺う。

※アドベンチャーツーリズム アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち2つ以上で構成される旅行

取組を進めていく。

答 経済振興部長 海のみならず鹿島神宮やサッカー観戦をはじめ、北浦や鹿島灘での釣り、ウォーキング等の自然体験など、どの観光資源の組合せでも、アドベンチャーツーリズムに該当するものと考えている。本市を訪れた方に鹿嶋の観光資源を巡っていただくことで滞在時間を延ばし、経済効果につながる

※アドベンチャーツーリズムを造成していただきたいと思うが、市の考えを伺う。

ホテル誘致計画について

問 中園 鹿島アントラーズの試合観戦や鹿島神宮などの参拝客が日帰り帰ってしまうが、徒歩で行けるところに宿泊地があれば、経済効果をかなり期待できる。ホテルの誘致について市の考えを伺う。

答 政策企画部長 市民やサポーターなどを対象としたアンケート調査を実施したところ、宿泊しないという回答が多かったが、「試合開催日に利用したい店舗や施設はどのようなものですか」という問いに対し、宿泊施設は遠方からお見えになる方から、利用してみたい施設として多くの回答を得た。そのため、ホテルなどの企業誘致については、行政の視点だけでなく、民間事業者からの提案やアイデア、そしてノウハウを最大限に活用できるように、民間事業を推進す

るための体制や仕組みづくりを検討していきたい。

ユーチューブの活用について

問 中園 鹿嶋市のPR方法としてユーチューブを使ってPRをしてはいかがか。ユーチューブの利用について市長の考えを伺う。

答 市長 どの部署で、どの内容が効果的に活用できるのかを検討し、通常の業務と動画作成に割く時間のバランスを考慮した上で活用していきたいと思っている。具体的には、動画のストックが可能となる観光分野や歴史分野については月に1本程度作成し、数年単位でストックを積み重ねていくことで、価値のあるコンテンツになると考えている。一方で、コンテンツの内容や品位、そして正確性、公益性を十分に考慮して行う必要があるため、多くの人の注目を集める動画を生み出すことは困難であると考えますが、そのバランスを取りながら、ユーチューブの活用については進めていきたい。

※ ラーケーションについて

問 加勢 ラーケーションの導入は、休みをとることの出来ないご家族が、学び楽しみ、または悩みなどを解決する時間となる。6月1日より開始されるが、市として期待することや導入についての見解を伺う。

答 教育委員会事務局部長 児童生徒が保護者と一緒に見学や体験活動をする、土日だとなかなか行けない場所で学ぶ、その中で多くの人と触れ合うことはよい機会だと考え、本市では導入を決めた。これらの経験が、教育に生かされることやラーケーションを通して児童生徒が悩みや不安を家族と一緒に考えることで、不登校の未然防止となることを期待している。

※ラーケーション

平日に児童生徒が家の人などと一緒に、思いや悩み、不安について家族と一緒に考える時間を取ることで。

※ クーリングシエルターについて

問 加勢 スポーツに特化したクーリングシエルターの検討が必要だと思う。高松緑地公園管理棟など、市主催で行う大会等で管理棟の一室をクーリングシエルターとして開放したらいかがか。まずは実行可能などころから手をつけていくべきだと考えているが、市の見解を伺う。

答 教育委員会事務局部長 管理棟の一室をクーリングシエルターとして開放することは、熱中症の初期症状が現れた選手や関係者が休息し、体温を下げるための場所として適していると判断している。熱中症特別警戒アラート発表前にクーリングシエルターを開放することについては、検証が必要であるため、まずは7月から開催される鹿嶋サッカーフェスティバルで検証を行いたいと考えている。

※クーリングシエルター

熱中症予防を目的とした避難所

【こんな質問もありました】

・市の不登校生徒数の把握・対策について



中園 薫 議員



加勢 まこと 議員



少人数学級について

問 小池 小学1、2年生は、1クラスの上限を30人としてきたが、今年から35人が上限となった。これは改善ではないと考えるが、市の考えを伺う。

答 教育委員会事務局部長 県や国の基準改定によって、学級規模の適正化が図られており、現在は小学5学年までが35人以下学級となっているため、市独自の制度は役割を終えたと判断した。また、県の教員採用試験の受験資格の緩和により、本市で採用していた教諭が県の教諭として採用されたため、人材確保が困難となっている。これらのことから、どの学年も35人以下学級にすることとした。

学校の統廃合について

問 小池 複式学級で授業を行って

いる学校が2校ある。学校の統廃合を考えるべきではないか。

答 教育長 教育懇談会において、複式学級がある過小規模校の改善が見込めないことや過小規模校を存続させることへの不安の声が寄せられたことから、統合に向けて検討する時期に来ていると判断をした。今年度中に学校の統合検討基準を明確にし、市民へ公表することで、理解を深めていきたいと考えている。なお、統合検討基準に当てはまる学校がすぐさま統合というわけではなく、様々な課題を洗い出し、協議を開始するものと考えている。

図書館司書について

問 小池 図書館司書が専任の学校があれば、兼任の学校もある。教育機会を等しくするという意味でも、全ての学校で専任にすべきだと思いがいかがか。

答 教育委員会事務局部長 児童生徒との積極的なコミュニケーションや工夫を凝らしたイベントの実施などを通して、読むことや調べることの大切さを伝え、専任教と格差が生じないように取り組んでいる。今後各学校と連携を図りながら現状の体制で推進していく。



部活動の地域移行について

問 宇田 部活動の地域移行を既に実践している市もあり、本市においても研究を進めていると思うが、現在の部活動地域移行に関する協議の経過や課題について伺う。

答 教育長 令和4年8月に、鹿嶋市部活動改革検討委員会を設置し、中学校の代表者や保護者、スポーツ協会あるいは文化協会等の代表者を委員として協議を開始している。まずは休日の部活動から地域移行すること、運動部系はかしまスポーツクラブ、文化部系は鹿嶋市文化スポーツ振興事業団が実施主体となって推進することなどの共通認識を図った。指導者の確保や移動手段など課題は多くあるが、市の現状に合った地域移行を進めていきたい。また、今年度から部活動指導員の配置を計画している。部活動指導

員の配置により、子どもたちは専門的な技術指導を受けることができ、教員にとっても、部活動に関する負担の軽減にもつながる。今後は、検討委員会での協議内容について、今年度中に情報発信ができるようになっていく。

中学校の適正化について

問 宇田 今後、少子化により中学校生徒数の規模は縮小していくため、授業や部活動が難しくなると考えられる。また、校舎についても、維持管理費は増加していくことから、中学校自体の適正化が必要だと考えるが、市の考えを伺う。

答 教育長 小中一貫教育を推進しており、5つの中学校は重要な役割を担っている。一番規模の小さい高松中学校においても、複式学級となることは見込まれていないことから、現時点では、過小規模となっている小学校の適正化を優先すべきものと考えている。

【こんな質問もありました】

- ・生徒数減少による部活動休止や廃止状況等について
- ・部活動指導者の人材確保に向けた取り組みについて

避難所の環境整備について

問 樋口 避難所には飲食料品の確保はもちろんだが、プライバシーの確保も必要である。日頃付き合っていない方々が一緒に生活することによるストレスは、想像以上のものがあると思う。鹿嶋市では、どのようにプライバシーを確保しようとしているのか伺う。

答 市民生活部長 段ボールパーティションや感染予防テントを活用することで、プライバシー空間の確保に努めていく計画となっている。また、避難所の一つである高正U&Iセンターホール（鹿嶋勤労文化会館）は、複数の部屋を有しているため、高齢者やお子様連れなど、様々な視点から避難者に配慮した専用のスペースを確保することができ、今後も避難された方々のストレスが緩和され、安心して過ごせる

ような避難所運営を目指していく。

問 樋口 避難所は狭い空間の中に多くの人間が生活をしているため、感染しやすい環境が整っている。何らかの病気が避難所で感染すると、二次災害化してしまうと思うが、感染症対策をどのように行っていくのか伺う。

答 市民生活部長 まず11の公民館を指定避難所として開設することで、避難者の分散化を図る。あわせて、段ボールパーティションや感染予防テントの活用、定期的な換気、手洗いやうがい、せきエチケット、マスクの着用を推奨し、出入口への消毒液の設置、受付時や定時の検温及び健康状態の確認などを実施する。今後も各地区まちづくり委員会や自治会などと連携し、実践的な訓練を取り入れながら避難所における感染症防止対策の推進に努めていく。

【こんな質問もありました】

- ・ 中学校の学力向上対策について
- ・ 学校へのクレーム対策について
- ・ 老朽化した建物の実態把握及びび耐震診断について



ひぐち たつあき 議員
樋口 龍章

クーリングシエルトー設置計画について

問 横山 令和6年4月1日からクーリングシエルトーを市町村長が指定できることとなった。設置計画について伺う。

答 市民生活部長 開設を予定している公共施設は、鹿嶋市役所、大野ふれあいセンター、中央公民館、波野公民館、はまなす公民館、カシマススポーツセンター、民間施設においてはショッピングセンターチェリオから内諾をもらっている。またウエルシアからは、市内にある5店舗をクーリングシエルトーとして開放したいというお話をいただき、事務手続を進めている。開設期間については、7月1日から10月23日まで開放する予定としている。

带状疱疹ワクチンについて

問 横山 ワクチン接種の必要回数、1回当たりの費用、効果、効果期間について伺う。

答 健康福祉部長 带状疱疹ワクチンは、現在、生ワクチンと不活化ワクチンが薬事承認され、50歳以上を対象とした任意接種として認められている。生ワクチンは接種回数1回で、費用は1万円程度、発症予防効果は接種1年後で約70%、効果の持続性は5年ほどと言われている。一方、不活化ワクチンは接種回数が2回で、一回の費用は2万3000円程度で合計4万6000円程度、発症予防効果は接種1年後で約97%、効果の持続性は9年以上と言われている。

問 横山 ワクチン接種を希望する方に対して、市で補助を行うことはできないか。

答 健康福祉部長 現在、带状疱疹ワクチンは任意接種の扱いであるが、国では今後の方針について審議を継続して行っているところであり、自治体側からも定期接種化へ向けた要望を行っている状況である。市としては、国における審議内容と共に対応を注視していきたい。



よこやま やすひさ 議員
横山 揚久



副市長の体制について

問 佐藤 国との関係性を強めるために、副市長2人体制は有効だと考えている。就任当初、市長もその考えを持っていたと思うが、現在の考えを伺う。

答 市長 副市長に係る人件費よりも、国会議員や国土交通省を通じて港湾整備等に関する要望や意見等を行うほうが、先進的取組についても情報収集ができ、効果的であると判断した。鹿嶋市の発展のために国の視点を取り入れることは忘れることなく、市政発展のために努力していきたい。

おくやみコーナーについて

問 佐藤 死後の煩雑な手続きを、ワンストップ窓口で対応できるサービスを始めるべきと、昨年6月議会

でも提案したが、その後の対応は。

答 健康福祉部長 県内各自治体の情報収集を行うとともに、検討を重ねた結果、本市では7月1日からおくやみコーナーを開設する運びとなった。対応にあたっては、ウェブまたは電話での事前予約制とし、実際の手続きは申し込み受付日から最短で3日後、1日の対応件数は2件を予定している。また、利用の手順としては、必要な情報を聞き取り、必要書類などをご遺族の方に事前に連絡し、当日は担当職員があらかじめ必要事項が印字された申請書類等を準備し、手続き一覧表をもとに順番を案内し必要な課を回っていただくこととした。広く周知を図りながら、ご遺族に寄り添った対応に努めていく。

問 佐藤 1日2件までしか対応できないというのは、他の市町村と比べて少ない印象を受ける。理由を伺う。

答 健康福祉部長 新たに始めるため事前準備や対応時間が読めないこともある。まずは午前1枠、午後1枠の形で行い、その後の調整において増加することも検討していく。



公共サービスに係る職員の処遇改善について

問 菅谷 鹿嶋市が指定管理を実施しているウエルポート鹿嶋の郷や松の木学園など、介護等の福祉職場の処遇改善の状況を把握しているか。

答 健康福祉部長 処遇改善の状況については、それぞれの施設が国の取り組みをもとに茨城県に対し補助金の申請を行い、介護職員、看護職員、相談員、厨房職員、事務員等を対象とした処遇改善を行ったと伺っている。

公契約条例について

問 菅谷 自治体が国に先駆けて、公契約条例の導入を検討すべきだと思うが、市の見解を伺う。

答 総務部長 公契約条例の導入については、条例の制定や検討をした

自治体において課題が指摘されており、今のところ条例を制定する予定はない。条例の制定よりも先に、事業者の経営と労働者の雇用環境の安定化を図ることが重要であると捉えている。

※公契約条例
自治体が発注する公共工事・業務委託等に従事する従事者の賃金・報酬下限額を設定するなど、自治体・受注者の責任等を契約事項に加えることを定めた条例

公共施設について

問 菅谷 公共施設の管理は、行財政改革の重要な中心課題であるため、市長が先頭となって選択と集中の方向性を示すべきだと考えている。市長の見解を伺う。

答 市長 公共施設の維持管理においても選択と集中を基本方針とし、様々な課題解決に向け、私自身がリーダーシップを発揮して推進していく。改革を進めるにあたり、地域特性の考慮、コストの分析評価、市民感情への配慮の3つの点に留意しながら、スマート&コンパクトシティーを土地利用の基本方針とし、未来に負担を残さないよう進めていきたい。

認知症本人・介護者交流会について

問 山口 認知症基本法の基本的施策の相談体制整備の観点から、認知症の介護者の集いや本人の集いについてどのような取組をしているのか伺う。

答 健康福祉部長 認知症当事者とその家族が、思いを声に出して、悩みを相談でき、情報交換や交流ができる場としてウエルカフェ（認知症カフェ）を開催している。また、今後は鹿島病院においても、コロナ禍で休止していた認知症家族の会を再開する意向としている。

5歳児健診について

問 山口 5歳児健診は、発達障がいなどの子どもの個々の特性を把握し、子どもと家族に必要な支援につなげることを目的である。5歳児健診の取組状況を伺う。



山口 哲秀 議員

答 健康福祉部長 現状では健診に対応できる専門職の確保が難しいことから、5歳児健診の実施には至っていない。ただし、本市では3歳児健診から就学までの期間において、保育園や幼稚園など、あらゆる関係部門との連携強化を図りながら、適切なタイミングで支援につなげられるよう努めているところである。

学校体育館のエアコン設置について

問 山口 文部科学省は、学校体育館への冷房機器の設置を推進する必要があると通知しており、茨城県も市町村長に設置を求めて直接説明している。事業の必要性について検討が前進しているのか伺う。

答 市長 整備の順序によって児童生徒に不公平が生じること、避難所には空調設備が設置されている公民館や施設を優先的に使用していることから、現時点での導入は見送るべきと判断した。また、県の担当者には全小中学校にスポットクーラーを設置済みであることを伝えたところ、本市の空調設備の設置状況を100%にするといった回答を得たため、県の要求を満たしたと受け止めている。

給食費無償化について

問 立原 給食費を無償化した自治体が県内で20市町村に拡大した。本来は国が行うべきだと考えているが、国が行わないのであれば、市で行う必要があると考える。市長の考えを伺う。

答 市長 学校給食の無償化を、今すぐに行うことは難しいという判断をしている。事業を実施することで市の貯金を使い果たしてしまうことや無償化に要した費用は将来子どもたちが負担することになり、長期的な継続において多額の費用を要するため、無償化という判断を安易にすることはできない。また、学校給食の制度権者は国であるため、子ども未来戦略において示された学校給食の実態調査結果等を注視し、無償化を早期に実現するよう、強く国に訴えかけていきたい。



立原 弘一 議員

人口減少対策について

問 立原 鹿嶋市は消滅可能性自治体リストに入っていないが、少子化と東京への一極集中により人口が減ってしまっている。鹿嶋市の将来を見据え、守っていくためには、様々な政策を行う必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

答 市長 少子化対策については、地方自治体の財政力によって差が生まれ、その財源をもって市町村で行う必要があると思っている。一方で、本市としては固定資産税を増やすことで人口減少に備えていこうと考えている。これまで本市を支えてきた基幹産業の支援を行うことやクリーンエネルギー産業を誘致することにより生まれる固定資産税を、市民サービスに回していくことを方針としている。活気あふれるにぎわいのあるまちにするために、人口減少対策に加えて産業の振興に引き続き力を入れていきたいと考えている。

【こんな質問もありました】

- ・国民健康保険に係る子どもの均等割保険税の対応について
- ・定額減税支給に関する対応について

一鹿嶋っ子の夢、
応援しています—
**きかせて！
あなたの夢**

弟と一緒に、お菓子屋さんを開きたい！



中野東小学校6年生
岸田 優珠花さん

私の将来の夢はパティシエになることです。小学5年生のときから本格的に料理をするようになりました。一番得意な料理は卵焼きで、母から教わりました。他にはクッキーやケーキなどお菓子作りが好きで、小学校1年生の時には、母の誕生日にデコレーションケーキを作ったこともあります。

お菓子作りが大好きで、弟思い、家族思いのゆずかさん、みんなに喜んでもらいたい、今までにない、お菓子・お店を作りたいという本当に思いやりと優しさが伝わって来ました。夢は必ず叶います。素晴らしい夢、目標実現に向かって頑張ってください。応援しています。

(横山委員、樋口委員)

夢を叶えるために、家族から料理を教わったり、できるだけ自分で料理をするようにしています。また、高校を卒業したら、料理の専門学校に進学して勉強したいと考えています。

パティシエになったら、弟と一緒に、お菓子屋さん



議 会 T O P I C S

議員表彰を受けました！

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会から、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績によりそれぞれ表彰を受けました。

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会表彰

議員在職 30 年以上
内田 政文 議長 / 根崎 彰 議員

議員在職 25 年以上
池田 芳範 議員 / 田口 茂 議員 / 立原 弘一 議員

全国市議会議長会表彰

議員在職 10 年以上
栗林 京子 議員



congratulation

- 委員 委員 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
- 内野 敬 仁
舛井 明 宏
小池 みよ 子
横山 揚 久
中 薫
樋口 龍 章
齊藤 裕 樹
加勢 誠

広報広聴委員会

今回の特集記事では、鹿嶋市消防団の団長、副団長、そして女性団員にインタビューを行いました。鹿嶋市民の命を守る皆さんの活動には、頭が下がる思いです。また、女性団員の活躍にも触れることができ、PR活動の大切さを再認識いたしました。これからも鹿嶋市議会としてバックアップしていきたいと思えます。今後も、皆様が楽しめる企画を、「とびら」で発信していきます。

編集後記

加勢 誠

次回の定例会は **8月30日** (金) 開会予定です

| | |
|---------------------------|---------------------------|
| 8/30 (金) | 本会議：開会 |
| 9/5 (木) 6 (金) 9 (月) | 本会議：一般質問 ※ 9日は予備日 |
| 10 (火) | 本会議：質疑・委員会付託 予算決算常任委員会 |
| 11 (水) | 予算決算常任委員会 |
| 12 (木) 13 (金) | 予算決算常任委員会分科会 |
| 20 (金) | 常任委員会 |
| 24 (火) | 予算決算常任委員会 |
| 26 (木) | 本会議：委員長報告・討論・採決・閉会 |

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。▶

